

第5回 APEC 食料安全保障担当大臣会合
プエルト・バラス、チリ、2019年8月23日

統合されたスマートで持続可能なフードシステムに向けて（仮訳）

前文

1 我々、APEC 食料安全保障担当大臣は、チリ農業大臣アントニオ・ウォーケル議長の下、2019年8月23日から24日までチリのプエルト・バラスで、アジア太平洋地域の食料安全保障を支援する意見交換及び協力分野の特定のため会した。我々は、FAO、OECD 及び IICA の代表の参加を歓迎した。

2 「人々をつなぎ、未来を構築」という包摂的なテーマの下、持続可能な成長、デジタル社会、統合 4.0、女性、中小企業及び包摂的成長が、APEC チリ 2019 の優先事項であると認識し、我々は、統合されたスマートで持続可能なフードシステムに向けて、共通の優先事項の特定だけでなく、より良い政策の定義及び実施に協力することにより、食料安全保障に関連する重要な課題に対処することを目指す。

3 我々の地域は、食料安全保障の面で課題に直面する。我々は、急激に増加している世界人口に対し、十分に安全かつ栄養価と質の高い食料への経済的アクセスを提供する方法を見つけなければならない。更に、何百万という農村部で生活する人々、主に小規模農家や漁業者、特に女性の生計は、食料生産及び食料関連の経済活動による雇用及び収入に依存している。

4 さらに、フードシステムは環境と動的関係にある。我々は、気候変動、自然災害の増加、土地、土壌及び海洋生息環境の悪化、淡水の不足、生物多様性の損失、そして、新たな病虫害の出現といった地球規模の変化が、農業、養殖業、漁業などの生産部門の発展に与える影響が増大していることを認識する。

5 我々は、生産性、持続可能性、包摂性及び強じん性の向上という相互補完的な目標を達成するために不可欠となるスマート・ソリューションを追求する。

持続可能なフードシステムの強化

6 長期的な食料安全保障を確保しながら、地球規模の変化に効果的に適応できるフードシステムのために、我々は、2020年に向けたAPEC食料安全保障ロードマップ及び持続可能な開発のための2030アジェンダの精神に沿った農業、養殖業、漁業の統合政策の策定及び実施を奨励する。これは、生産性の向上、食料の損失・廃棄の削減、水、陸上・海洋生態系、生物多様性、天然資源の保全、保護と持続可能な利用の確保だけでなく、社会福利の強化にも貢献する。

7 気候変動に対する我々のフードシステムの強化は、農業生産が気候条件と密接に関連するため、我々のエコノミーにとって優先事項である。我々は、世界的課題への解決策を提供する上で、農業が果たしうる積極的な役割を認識する。食料の損失・廃棄の削減は、新たな気候変動による食料安全保障上のリスクを低減するための適応策及び緩和策にもなりうる。我々は、世界規模で変化する気候条件がもたらす課題に向き合い、その機会を活用することを可能とする状態を作り出すことを目的として、域内協力の強化を支援する。

8 我々は、強固な水政策だけでなく、水の効率的利用、持続可能な管理が、フードシステム全体の経済的成果、社会的包摂性及び環境的持続可能性にとって極めて重要であることを強調する。我々は、これらの分野で優良事例を共有することの重要性を強調する。

9 我々は、食料の損失・廃棄の防止及び削減は、APEC地域の食料安全保障及び環境持続可能性に影響を及ぼし続けている多くの側面を有する課題であることを認識する。我々は、課題を抱える全ての利害関係者が貢献する、フードチェーン全体での政策強化の重要性を強調する。我々は、食料の損失・廃棄の防止及び削減のため、情報集積及び測定改善、全ての利害関係者間の連携強化、情報通信技術（ICT）を含む研究、開発及びイノベーションの奨励、意識向上及び能力開発、強固な政策の策定におけるAPECのさらなる協力を支持する。

10 我々は、APEC地域における一人当たりの平均動物性タンパク質摂取量の22%近くを占める水産物消費の重要性を認識する。この意味において、我々は、海洋環境を保護し、漁業と養殖資源の持続可能な利用を確保することの重要性を強調する。我々は、生計に危害を及ぼし、食料安全保障を脅かし、持続可能な成長を妨げる、2019年APEC貿易担当大臣会合において合意した特定の種類の漁業補助金に対処し、また、違法・無報告・無規制（IUU）漁業に立ち向かうための継続的行動を求める。我々はAPEC IUU漁業対策ロードマップを歓迎する。

11 我々は、海洋環境、沿岸域での生計、食料安全保障及び持続可能な成長に対して、ますます悪影響を与える海洋プラスチック汚染を含む海洋ごみを、世界的かつ多くの専門分野にわたる課題として認識する。我々は、革新的かつ持続可能な廃棄物管理システムと持続可能な農業、養殖業、漁業活動実施を含む、海洋ごみを管理し、防止するための措置を実施し促進するよう、協力して対処することをエコノミーに求める。APEC 食料安全保障の目標を支持する海洋ごみに関する APEC ロードマップを歓迎する。

イノベーション、新技術及びデジタル機会の活用

12 イノベーション、新技術、デジタル化は、農漁業及び水産養殖食品関連産業における持続可能な生産性向上の原動力であり、現在の多くの課題を解決するために不可欠である。我々は、新技術の創出と適切な普及に重点を置いた、全ての利害関係者間の効果的な協調等を通じて、イノベーションを優先事項とすることを奨励する。

13 我々は、透明性があり、科学的根拠に基づく規制枠組みを策定し、維持すること、また情報や経験を共有することをエコノミーに奨励する。

14 我々は、農業の「デジタル化」は、農産物が栽培、収穫及び流通する際、フードバリューチェーンの様々な段階で影響を与えることを認識する。この急速に変化する状況の中で、我々は、人材開発に対する技術の普及、挑戦及び機会を促進するため、また現地の実情に対処する政策を策定し、デジタル変革による機会を効果的に活用するための共通のアプローチを特定することを目指して、APEC におけるより深い協力と対話を持続可能かつ包摂的に促す。

協働の推進とフードバリューチェーン及び貿易の強化

15 小規模農業・漁業・水産養殖業者、先住民及び特に女性を含む零細・中小企業は、フードバリューチェーンの中で競争力を持つための困難に直面する。彼ら個人は、多くの課題の中でも、特に交渉能力に限界があるとともに、金融システム、市場の情報及び新技術へのアクセスが限られている。彼らの強靱性や適応能力を高めるために、我々は、新たな貿易機会を特定し、機能的な市場を奨励するより包摂的なフードバリューチェーンを推進することを支持する。

16 サプライチェーンにおける連携や協力的イニシアチブと定義される協働は、包摂的な経済成長の達成に向けた進展を促す重要な要素となり得る。新たな利害関係者が国内及び世界的なバリューチェーンに参加できるよう、生産性

や競争力を向上させ、サプライチェーン全体での連携を強化するために、我々は、零細・中小企業やその他の利害関係者との協働を促進するビジネスモデルの策定を奨励する。

17 我々は、食料安全保障における国際貿易の重要性を強調する。我々は、効率的で持続可能なフードシステムには、時宜を得た国際市場へのアクセスが必要であることを認識する。この点において、我々は、市場の予測可能性を高め、ビジネスの信頼性を強化し、食料貿易を活性化するような、透明性があり、無差別かつ合意されたルールの重要性を確認する。我々は、非関税障壁等、国際的なルール、義務及び科学的根拠に基づく基準と不整合な措置は、食料安全保障を損なう可能性があることを認識する。

機会をもたらす地域開発の強化

18 大半のエコノミーにおいては、農村や沿岸コミュニティがフードシステムの基礎の一部となっているため、我々はそれらコミュニティの開発を促進することの重要性を認識する。我々は、農村人口の包摂的な開発を促進するために、多様なニーズと機会を反映した、強固で地域特有の政策が必要であることを認識する。我々は、経済的、社会的、環境的及び文化的側面を考慮し、全ての利害関係者と協力した包括的なアプローチを通じて、農業以外の課題に対処し地域の開発を推進する農村政策を奨励する。

19 我々は、農村住民のインフラ、基礎的サービス及び生活の質を向上させる政策とともに、フードバリューチェーンにおける零細・中小企業の統合を促進しつつ、農業、林業、漁業及び水産養殖業に付加価値を与える、持続可能かつ市場に基づいた手法を開発する戦略を奨励する。

20 我々は、農村開発に貢献する、競争力があり、持続可能かつ質の高いフードシステムを促進することの重要性を強調する。

21 我々は、農村開発政策の立案に当たり、極めて初期の段階からジェンダーの観点を組み入れることを奨励する。エコノミーにおける高水準の女性参画が、地域における生活水準の向上、経済成長の加速化の鍵となる。我々は農村や沿岸コミュニティにおいて女性が果たす多大な貢献と影響を認識する。女性のエンパワーの重要性を認識し、我々は、APEC の農業及び漁業における女性の優良事例ガイドラインの策定に向けた継続的な取組に留意し、成果に期待する。

将来に向けて

22 我々は、食料安全保障に貢献する APEC 内での PPFS、ATCWG、HLPDAB 及び OFWG による取組を支持し、統合されたスマートで持続可能なフードシステムに向けて作業するに当たり、これらのグループが協力を強化することを奨励する。

23 我々は、食料安全保障における現在及び将来の課題に対処するための官民セクターの協調の重要性を改めて強調する。我々は、APEC が PPFS における ABAC を含む民間セクターとの連携を強化し、活性化することの重要性を確認する。

24 2020 年に向けた APEC 食料安全保障ロードマップの下での成果を反映し、我々は、2020 年以降にこの地域の食料安全保障を強化するための継続的な優先事項と将来の機会を評価し特定することを求める。